

安岐の郷だより

第13号

安岐の郷

検索

敬老の日 ひよっこ隊で慰問



西本地区



中園地区



むさし苑



吉美会の皆さん

安岐の郷では職員による「ひよっこ隊」を組織して慰問活動を行っています。今年も敬老の日の9月17日、ひよっこ隊が中園と西本地区を訪ねました。また、むさし苑では一足早く15日の午前中にご利用者に職員によるひよっこ踊りを披露。そのあと、吉美会の皆さんによる日本舞踊の慰問があり、敬老の日のお祝いを行いました。



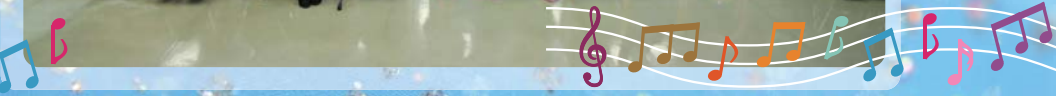
ひよっこ隊
むさし苑

松前ひろ子さん慰問



演歌歌手の松前ひろ子さんは国東市の観光親善大使として毎年この時期にコンサートを開催されていますが、その前後に鈴鳴荘とむさし苑を交互に慰問に来てくださっています。今年もコンサート

の前日（11月2日）にむさし苑へ来てくださり、ご利用者に演歌を披露してくださいました。なお、コンサートの当日には安岐の郷よりご利用者・職員106名が会場へうかがいました。



▲民生委員さんと談笑

武蔵地区の民生委員さん（17名）は例年、武蔵町のご利用者を対象に敬老の日を前に、国東市内の施設を訪問、お見舞いを兼ねて激励してくだ

民生委員さんがご利用者を激励

▼民生委員さんと記念撮影



さっています。今年も9月14日、15名の民生委員さんが鈴鳴荘とむさし苑を訪問、交流をされました。武蔵町のご利用者は鈴鳴荘が16名、むさし苑には35名の方が入所されています。

三河市長からのお祝い状を受ける長木チヨ様
また、13日には100歳を迎えられたむさし苑



三河明史国東市長が9月18日むさし苑を訪問され、国東市の最高齢者である長木チヨ様の長寿のお祝いをしてくださいました。長木チヨさんは明治40年11月10日生まれの111歳。（※本紙の発行日現在）

国東市の最高齢者 三河市長祝辞



▲100歳のお祝い皆さんで

のご利用者3名に、東部振興局より安倍総理大臣のお祝い状が渡されました。ちなみに、国東市の人口は8月末現在で28,356人ですが、65歳以上の高齢者は11,704人と、高齢化率は41.3%となっています。うち100歳以上の高齢者は男性5人、女性38人の計43人です。

理事長挨拶

理事長 高橋とし子



今年の夏は異常な暑さでしたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。私どもは例年お盆を挟んだ8月のこの時期は、各施設での慰霊祭や盆踊り大会、地域の盆踊りへの参加など行事が集中します。初盆を迎えた職員の自宅訪問から始まり、14日の地域の盆踊り、15日のむさし苑の夏の夜祭があり、むさし苑から懸賞踊りに参加しました。今年は優勝を狙っていましたが残念ながら2位でした。そして16日の朝来地区の盆踊りを皮切りに、18日がむさし苑、20日が鈴鳴荘、22日が松寿園と、各施設での慰霊祭と供養盆踊りを行いました。最後が9月1日の南安岐地区の活性化協議会主催の盆踊り大会です。あいにくの雨でしたが体育館で行われ、三河明史国東市長、野田忠治国東市議長が来賓として参加されました。夜店も体育館での出店となりましたが、とても賑やかな盆踊りとなりました。鈴鳴荘も出店し、焼き鳥などの販売を行いました。今年には台風の当たり年となり、各地で台風による豪雨災害が発生しました。国東市では9月2日に市全体で防災訓練が実施されましたが、私も高齢者施設では特に避難誘導訓練の重要性を痛感いたしております。と言いますのも、一昨年に松寿園で火災が発生しましたが、2階から階段を利用してご利用者が素早く避難することができました。これも普段からの避難訓練が生かされた一例だと思っております。また、鈴鳴荘では近くを流れる荒木川の洪水の心配がありますし、松寿園には津波の心配もあります。こうした危険・災害を想定した対策も欠かせない重要事項です。リスク管理の必要性を改めて感じている昨今です。敬老の日の行事としては、各施設でイベントや行事食などを提供してお祝いしていますが、地域の老人会に「ひよっこ隊」が出向き、慰問活動を行っています。当初は鈴鳴荘の職員だけでしたが、今ではむさし苑でも行っております。ご希望があればお声をお掛けください。9月7日にケアマネ有資格者の懇親会がありました。私を入れて28名の参加があり、会場いっぱいテーブルを見て驚きとともに、改めて職員の頑張りを目の当たりにした気持ちでした。安岐の郷全体で29名のケアマネ資格者がいます。社会福祉法人制度改革が行われ、私も社会福祉法人は地域における公益的な取り組みを実施する責務が課せられました。これまでも地域貢献事業には積極的に取り組んでまいりましたが、今度行います介護予防拠点施設を拠点に、より充実した地域に喜んでいただける事業展開を行ってまいります。

夏の風物詩・盆踊りシーズンの到来——。安岐の郷では施設ごとに慰霊祭と供養盆踊りを行っているが、今年も例年通り開催することができました。朝来サポーターセンター鈴鳴荘は8月16日、地域の盆踊りに合わせて100円居酒屋を行い、そのあと地域の盆踊りに参加しました。18日はむさし苑

夏のイベント

で慰霊祭（善長寺・正本住職）と盆踊り、20日が鈴鳴荘で朝来との合同慰霊祭（浄泉寺・中野住職）、午後が盆踊り、22日が松寿園で午前中に慰霊祭、（文殊仙寺・秋吉副住職）午後には盆踊りを行いました。松寿園は雨の心配もありましたが何とか開催できました。盆踊り会場では抽選会も行いました。



慰霊祭と供養盆踊り



▲さ吉くんとだいふくんが駆けつけてくれました。子ども達に大人気でした！

▼地域と合同開催の盆踊り毎年大きな輪ができます。



慰霊祭での中野住職による説法

▲朝来の盆踊り風景



特別養護老人ホーム
鈴鳴荘

&
朝来サポーターセンター
鈴鳴荘



盆踊り抽選会子どもの部一等



盆踊りを楽しむご利用者さん



慰霊祭での正本住職による説法



慰霊祭での秋吉住職による説法

特別養護老人ホーム
むさし苑

養護老人ホーム
松寿園

子ども介護日

介護現場に従事する私たちにとって家族の協力は欠かせないものですが、その一環として子どもたちにお父さん、お母さんの働く姿を見てもらい、介護の仕事を理解してもらおうと始めた「子ども介護日」。今年で6回目。

鈴鳴荘は夏休みの8月24日に行い、子どもたち6名が参加しました。むさし苑は9月24日で11名が参加しました。



▲車いす体験



▲ホットケーキ作り



▲グループホームのご利用者



▲子どもたちで疑似体験



▲お母さんとご利用者さんと一緒に生け花



親子のツーショット

グループホームにて
お父さんと一緒におばあちゃんのご飯を作りました。

従来型特養

2回目の参加です。福祉の仕事は大変だと思うが、おじいちゃん、おばあちゃんの笑った顔が見れてよかった。

従来型特養

お母さんは忙しそうに働いていました。アイマスクでの歩行は、誘導してくれるけれど、怖くて歩けませんでした。

懸賞踊り 第2位を受賞
第45回「むさし夏の夜祭懸賞踊り」が8月15日に開催され、安岐の郷むさし苑チームが第2位を受賞しました。今年こそは優勝するぞの意気込みで練習に打ち込んできましたが、残念ながら準優勝でした。来年こそは優勝を目指して頑張ります。



秋本番

行楽シーズンの到来

暑い夏を過ぎれば、いよいよ芸術・スポーツそして食欲の秋の到来となります。冬は感染症対策の為、ご利用者の外出・慰問やボランティアの受け入れなどを自粛しますので、この束の間の行楽シーズンを外出やイベントで楽しみました。

落語会を楽しみました



アスト国東マルチホールで9月10日、林家たけ平さんのトークと落語の二部構成で落語会が開催され、鈴鳴荘・むさし苑・松寿園のご利用者約20名で参加、落語を楽しみました。

9月23日には宇佐市に外出しました。宇佐市平和資料館見学、MrMax（ミスターマックス）でのショッピング、夕食を楽しみました。

一泊旅行

うみたまごに行きました

鈴鳴荘の地域密着型特養では9月11日に一泊旅行でホテルソラージュ大分・日出に宿泊しました。ホテルのご厚意により、温泉を貸切で使うことができる時間を設けてもらえたことで、ゆっくりと温泉を堪能することができました。日出町に生家のあるご利用者さんは温泉から見える景色を眺めながら「あそこを曲がったところに家がある」と嬉しそうに教えてくださり、昔を懐かしんでおられました。入浴の後は皆で美味しい夕食と団らの一時を満喫していました。

翌12日には朝来サポートセンターと従来型特養の日帰り旅行のご利用者も合流してゆめタウン

別府と大分マリンパレス水族館「うみたまご」に行きました。

また、むさし苑でも新型特養とグループホームのご利用者と一緒に10月9日、ゆめタウンとうみたまごに出かけました。ご利用者は、「久しぶりにうみたまごに来たが、前日は嬉しくてあまり眠れなかった」、昔漁師をされていたご利用者は「たくさんの魚を見て昔を思い出して感慨深かった」など、皆さんそれぞれ喜んでくださいました。



ソラージュでの夕食会



夕食後の団らん



うみたまごの入口で



イルカショー

運動会



鈴鳴荘



鈴鳴荘



松寿園



松寿園

重度化している特養のご利用者で運動会を行うのが年々難しくなる中、鈴鳴荘は3年前からデイサービスやグループホーム、ショートステイのご利用者、託児所の子どもたち、そして朝来サポートセンターのご利用者と一緒に在宅部門の運動会

を行っています。今年も10月16日に鈴鳴荘の地域交流センターで大運動会と銘打って行いました。

また、松寿園も10月10日、ご利用者の運動会を行いました。この日は雨天のため室内での開催となりました。玉入れ競技やパン食い競争、スカットボールなどを楽しみました。

むさし苑は、5年前から運動会をやめて家族会を兼ねて「お楽しみ会」を行っています。今年も11月10日に開催、職員が猛練習をしてきた出し物を楽しみました。

託児所の運動会

法人の託児所「すこやかクラブ鈴鳴荘」の大運動会が11月10日、朝来サポートセンター鈴鳴荘に隣接する旧朝来小学校体育館で開催。年々託児所の子どもが増えるのに伴いご家族の参加が増大、4年前から体育館で行っています。今回が第6回目で、園児16名に卒業生やご父兄約130名の参加があり、親子競技などアットホームな楽しいひと時を過ごしました。



さ吉くんが応援に来てくれました

さんまパーティ

食欲の秋、さんまパーティを満喫。むさし苑は10月1日、鈴鳴荘は10月12日にさんまパーティを行い、ご利用者に焼きたてのさんまを味わっていただきました。



安岐町ゲートボール協会主催の「第5回鈴鳴荘杯ゲートボール競技大会」が、鈴鳴荘創立記念日の10月1日、安岐町ゲートボール場で開催され、17チームが参加、熱戦を繰り広げました。試合は、



第5回 鈴鳴荘杯ゲートボール大会



優勝チームとの記念写真



安岐の郷チーム

A組9チームとB組8チームに分かれて行われ、A組が新町チーム、B組は矢川Aチームが優勝しました。鈴鳴荘の田辺由加里施設長は、「前日まで台風24号の影響で心配しまし

たが、まさに台風一過の晴天となりました。日頃の皆様の精進のおかげと申します。10月1日、鈴鳴荘は創立22周年を迎えました。これも偏に皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます」と、主催者の挨拶。安岐町ゲートボール協会の河野忠義会長が、「9月の県大会で、ゲートボール競技の女子の部で国東代表が優勝、男女の総合では第2位と、国東市の総合得点に我々ゲートボールが大きく貢献しました」と、ゲートボール部の活躍を報告、そして、「既にゲートボールは世界各国で普及しており、将来オリンピック競技種目となる可能性のある国際的スポーツです。若い世代の方々にもどんどん参加してもらいたい」と、ゲートボールの普及拡大を述べられ、5コートを使用し

て競技を開始しました。

実習生の受け入れ

鈴鳴荘では例年、国東市民病院の依頼で大分大学医学部医学科5年生の学生を実習生として受け入れております。これは、

「高齢者の施設での生活を初めてみました。病院での生活しか見ていなかったのが参考になりました」「嚥下機能が低下

している方がミキサー食を召し上がったという姿に、食事形態の重要性を認識しました」



健康づくりをしませんか

いくつになっても地域の中で元気に生活ができるように、鈴鳴荘では毎月2回「健康づくり応援教室」を行っています。皆さんも、専門の職員と一緒に健康づくりをしてみませんか。詳細は下記のとおり。



日時：毎月第1・第3木曜日 10:00~14:00 (6カ月コース)

内容：健康体操、健康に関する座学、各種レクレーション

対象者：65歳以上で安岐・武蔵地域在住者
(介護認定の有無は不要、通所系サービス利用者は利用不可)

利用料：1,000円/1回 (バイキングの昼食代を含む)

お問い合わせ：TEL.0978-67-2626 (担当：藤本)



看護師が体調チェック



認知症予防講話



昼食バイキング



合同避難訓練

むさし苑では毎年国東市の防災訓練のあと、地元消防団、消防署の皆さんのご協力で、合同避難訓練を行っています。今年も9月2日9時過ぎから市内一斉に「国東市防災避難訓練」が行われましたが、午後、消防署南分署、糸原上・下・小城の地元消防団の皆さん約30名の方が参加、



シートをタンカーにシートでの搬送



消防団の皆さんと意見交換

合同避難訓練を行いました。「煙を一定量吸い込むと意識はあるが体が動かなくなり、火災時の煙については十分注意する必要があります」「消火器の設置場所の問題点」など、色々ご指導をいただきました。ご利用者の安全に努めたいと思います。

介護予防拠点施設

安岐の郷はこれまで「健康づくり応援教室」「鈴鳴荘」や「生活機能向上特化型デイサービス」(むさし苑)などの介護予防に力を入れてきました。よりこの事業を拡大するために介護予防拠点施設を開設することにしました。

国東市より安岐町福祉ゾーンにある「国東市高齢者生活福祉センター」を民間移譲で私も法人が譲り受け、活用方法を検討してまいりました。同センターは鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造りの平屋建て。もともとはデイサービスに使用していたデイエリアと、住宅である居住エリアに分かれており、今回はまずデイエリアを介護予防拠点施設として改修工事を行います。

この介護予防拠点施設は、これまで鈴鳴荘で行っていた「健康づくり応援教室」(第1・第3木曜日の月2回実施)の開催をはじめ、理学療法士等の専門職による運動機能向上を目的としたシルバー向け運動教室の新設、調理室とカフェスペースでは食堂や喫茶店時にはフリーマーケットや野菜販売を行い、地域交流の場となるイベントを開催するなど、介護保険事業外での活用を考えております。また、この施設は地域に開放して、地域の方々が集う場所となれますように色々と構想中です。尚、来年4月にオープン予定です。

職員研究発表会

安岐の郷では例年の4月と10月及び12月に職員全体会議を行っています。4月は事業計画など1年間の方針や目標を掲げて職員に周知、10月は各施設の取り組みの発表会、そして12月は虐待防止研修となっております。今年も10月3日、武蔵中央公民館セントラルホールで職員の研究発表会を行いました。今回の研究発表では、8月と9月にかけて各施設で



勤続20年、10年の職員表彰

会場の様子



行った予選会で勝ち残った4部署が発表しました。また、この日は7月の「平成30年度九州老人福祉施設職員研究大会」(大分大会)で奨励賞を受賞した鈴鳴荘特養部門の「チームケアの構築を考える」最後まで一緒に過ごせるケアを目指して「も合わせて発表されました。研究発表は次のとおり。

また、勤続20年、10年の職員に表彰も行いました。

むさし苑グループホーム「今日のお天気は～穏やかな生活を取り戻すまで～」

鈴鳴荘新型特養「自分らしさを取り戻すために～何が出来るかを考える～」

むさし苑看護「入所しても故郷に帰りたい～パーキンソン病が進行しても思いはひとつ」

鈴鳴荘厨房「直営支援型食事提供システムを導入して～ナリコマでの1年間を振り返って～」

運営推進委員会

今後ますます増加が予想される認知症高齢者や要介護高齢者が、介護度が重くなってもできる限り住み慣れた地域で生活ができるように、2005年(平成17年)に介護保険制度の見直しが行われ(平成18年4月施行)、新たに地域密着型サービスが創設されました。地域密着型サービスは、地域の特性を活かし、地域の事情に即したサービスを提供するために、事業者の指定や監督は市町村が行います。このサービスを利用できるのは原則、事業者と同一の市町村に住民票を有する者となります。

この結果、従来からある認知症対応型共同生活介護(グループホーム)や、新たにできた小規模多機能型居宅介護事業などが地域運営推進委員会を設け、地域の区長さんや老人クラブの会長、民生委員さん、それに行政の方の参加をお願いして2カ月に1回開催して意見交換を行っています。



編集後記

今年の夏は本当に暑い日が続きました。盆踊りのシーズンを終え、季節は秋へと移行いき、気が付けばもう冬の到来です。さて、今回の「安岐の郷だより」は夏から秋にかけての行事を中心に作成しております。次回は各施設での研究発表などを報告しようと思っています。よろしくお願ひします。(広報委員)



● 社会福祉法人 安岐の郷 ご利用者と地域の皆様、そして職員の心が鈴の音のようにかろやかに共鳴し合えるように…

特別養護老人ホーム **鈴鳴荘**
〒873-0222
大分県国東市安岐町下山口58番地
☎0978-67-2626

朝来サポートセンター **鈴鳴荘**
〒873-0351
国東市安岐町朝来144
☎0978-66-0120

特別養護老人ホーム **むさし苑**
〒873-0421
国東市武蔵町糸原2368番地1
☎0978-68-0238

養護老人ホーム **松寿園**
〒873-0643
国東市国東町富来浦2368番地1
☎0978-74-0251